学校番号	1008

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界の文化と歴史①	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	「詳説世界史」（山川出版）						
副教材等	「時代と地域の羅針盤 アカデミア世界史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合の学習で身につけた資質・能力をもとに、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察しましょう。この授業では特に世界史の古代から中世までを学んでいくなかで歴史のロマンを感じ、世界の歴史に関する知識と理解を深めていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文明の成立と古代文明の特質	・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明	a:諸地域の文明について、古代文明に共通する歴史的特質を理解するとともに、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。 b:壁画や粘土板、青銅器や獣骨など考古学的資料などをもとにその当時の政治や支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現している。 c:学習内容に対して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	ワークシート 活動の観察
	中央ユーラシアと東アジア世界	・中央ユーラシア ・秦・漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成	a:秦・漢・隋・唐などの社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化を踏まえたうえで理解している。 b:兵馬俑や青銅貨幣などの考古学的資料や壁画などの図像資料などをもとにその当時の政治や支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現している。 c:　学習内容に対して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	ワークシート 活動の観察

二学期	南アジア世界と東南アジア世界の展開	・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ・東南アジア世界の形成と展開	a:南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響、東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 b:地図などの資料やその土地の風土・地形を踏まえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 学習内容に対して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	ワークシート 活動の観察
	西アジアと地中海周辺の国家形成	・イラン諸国家の興亡とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家 ・ローマと地中海支配 ・キリスト教の成立と発展	a:ギリシア人の都市国家形成、そしてローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのかを理解している。また、勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 b:オストラコンなどの考古学的資料やモザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、さまざまな事象について多面的・多角的に考察し表現している。 c: 学習内容に対して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	ワークシート 活動の観察

三学期	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	・アラブの大征服イスラーム政権の成立 ・ヨーロッパ世界の形成	a: イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。また、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 b:イスラーム政権の拡大を示す地図などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。また、荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 学習内容に対して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	ワークシート 活動の観察
	イスラーム教の伝播と西アジアの動向	・イスラーム教の諸地域への伝播 ・西アジアの動向	a: 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。また、アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒の連帯が維持されたことを理解している。 b: 『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。また、トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 学習内容に対して自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート ワークシート	ワークシート 活動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度